

科目名 (Eng)		コミュニケーション論(Introduction to Communication Science)							
担当教員		松江 俊一							
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション 情報学科	2	通年	必修	2	(60)	専門	B	
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-1)。(D-5)。 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6)。 JABEE基準I(1)との対応：								
授業の概要と方針	コンピュータを用いながら、的確な要約力、論理的な発話能力を養うためのトレーニングを行う。コミュニケーション形態を様々な角度から捉える目を養う。								
到達目標	①ワープロ・プレゼンテーションソフトの的確な使用法を習得し、使用できる。 ②分量の多い新聞・雑誌・講話等の情報を図表を用いて要約できる。 ③決められた制限時間の中で意味の含有率の高い発表ができる。 ④板書に頼らずにノートを作り、要約ができる。								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容						事前学習
前期	1	新聞・雑誌・講話の要約(1)	食と健康 1						各単元で扱われた問題に関連する記事・書籍を積極的に調べてから次の授業に臨むこと。
	2	新聞・雑誌・講話の要約(1)	食と健康 2						
	3	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 1						
	4	新聞・雑誌・講話の要約(1)	人と自然 1						
	5	新聞・雑誌・講話の要約(1)	人と自然 2						
	6	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 2						
	7	新聞・雑誌・講話の要約(1)	教えと学び 1						
	8	新聞・雑誌・講話の要約(1)	教えと学び 2						
	9	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 3						
	10	新聞・雑誌・講話の要約(1)	常識と良識 1						
	11	新聞・雑誌・講話の要約(1)	常識と良識 2						
	12	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 4						
	13	新聞・雑誌・講話の要約(1)	人とマスメディア 1						
	14	新聞・雑誌・講話の要約(1)	人とマスメディア 2						
	15	レジュメの作成、発表(1)	前期期末試験解答用紙の返却と解説 相互評価 5						
後期	16	新聞・雑誌・講話の要約(1)	人と科学技術 1						
	17	新聞・雑誌・講話の要約(1)	人と科学技術 2						
	18	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 6						
	19	新聞・雑誌・講話の要約(1)	差別問題 1						
	20	新聞・雑誌・講話の要約(1)	差別問題 2						
	21	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 7						
	22	新聞・雑誌・講話の要約(1)	言葉以外のコミュニケーション 1						
	23	新聞・雑誌・講話の要約(1)	言葉以外のコミュニケーション 2						
	24	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 8						
	25	新聞・雑誌・講話の要約(1)	アサーション 1						
	26	新聞・雑誌・講話の要約(1)	アサーション 2						
	27	レジュメの作成、発表(1)	相互評価 9						
	28	新聞・雑誌・講話の要約(1)	アイデンティティ 1						
	29	新聞・雑誌・講話の要約(1)	アイデンティティ 2						
	30	レジュメの作成、発表(1)	後期期末試験解答用紙の返却と解説 相互評価 10						
試験について	中間試験は共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。 再試験受験の条件：全ての課題を所定の日時まで提出してあること。								
評価方法	定期試験40%、授業メモ、課題・発表等60%で評価する。								
教科書	配布資料								
参考書	授業中に指示する。								
関連科目	情報基礎演習、日本語1・2、コミュニケーション論入門								
履修上の注意	授業中の講話や資料による知識は問題把握のきっかけに過ぎない。関連する記事や書籍を自身で調べることを心がけること。								